

医科研究会

アレルギー性鼻炎の新しい治療法 舌下免疫療法



草野謙一郎先生

アレルギー性鼻炎の新しい治療法

1月19日(木)佐賀市アバンセにて、草野謙一郎先生(医療法人ファーストくさの耳鼻咽喉科理事)を講師に、医学研究会「アレルギー性鼻炎の新しい治療法 舌下免疫療法」を開催し、17医療機関より24名の参加がありました。
以下、参加者からの報告です。

舌下免疫療法に関する講演を拝聴した。演者は、数多くの症例を経験しておられる草野謙一郎先生である。

本療法は従来の抗原エキスを皮下注射して行っていたところを、経口投与にしたものである。現在のところ対象は、スギ花粉とダニに限られている。通院を余儀なくされる皮下注射を内服にしたことにより、患者負担は軽減し、注射による疼痛からも解放される。これだけでも患者の利便性は数段向上する。
気になるのは効果と副作用の問題であるが、寛

解例が20%程度、軽減例が60%程度と述べておられ、期待して良い数値と感じた。副作用に関してはスギ花粉でアナフィラキシーが2例報告されているが、重篤ではなかったとのことである。その他の副作用報告も、副作用というより、起こり得る想定内の副反応と考えるべきではないかとのことであった。本療法は初回投与は院内で実施することになっている。万一来に備えておくべきであろう。

また、アナフィラキシーショックに対する備えについてもご説明して

いただいた。事前に院内での勉強会を行い、「診断」、「対処手順」を明確化し、処置器具や薬品とを分かりやすいよう配置しておられるとのことであった。

治療が開始されて十分な期間が経過しておらず、本邦における治療成績の評価はこれからだと思われるが、国民の4人に1人がスギ花粉症であることを踏まえ、この治療方法が好成績を収め、広く行われることを期待したい。

(佐賀市 市原 次郎)

